



新ど研モノゴトFACTORY第4弾 北大おみやげ開発プロジェクト
クラーク博士の思いを受け継ぐ北大農場産の希少牛乳を活用

HOKUDAI Clark's Milk バウムクーヘンとクッキーを発売



この度、株式会社北海道博報堂（本社：札幌市中央区、代表取締役社長：池田剛）の「新どさんご研究所（以下、新ど研）」は、北海道の魅力を掘り起す商品開発プロジェクト「新ど研 モノゴトFACTORY」の第4弾となる、北海道大学おみやげ開発プロジェクト「HOKUDAI Clark's Milk」を北大マルシェ Café & Labo（法人：株式会社北海道農村研究所 代表：大黒宏）と立ち上げ、4月4日よりバウムクーヘンとクッキーを発売いたします。

「HOKUDAI Clark's Milk」は、北海道大学（以下、北大）の研究資産そのものをブランド化し、おみやげを開発するプロジェクトです。「HOKUDAI Clark's Milk」最初の商品として今回開発したのは、クラーク博士の時代から140年以上の歴史を持つ北大農場で採れる希少な牛乳をたっぷり使用したバウムクーヘンとクッキーです。

◎商品概要（すべて税別）

- ・ HOKUDAI Clark's Milk バウムクーヘン 5個セット 1,000円 / 10個セット 1,950円
- ・ HOKUDAI Clark's Milk クッキー 6枚セット 1,000円 / 12枚セット 1,950円

◎発売日：2019年4月4日（月）

◎取扱店：

- ・ 北大マルシェ Café & Labo / 札幌市北区北8条西6丁目2-18 北海道大学百年記念会館1F
4～11月 10:00～18:00 12～3月 10:00～17:00（火曜定休）
- ・ 北海道どさんごプラザ札幌店 / 札幌市北区北6条西4丁目 JR札幌駅西通り北口
（北海道さっぽろ[食と観光]情報館内） / 8:30～20:00（年中無休）

◎Webサイト : <http://www.marche-cafelabo.com/>

* 4月上旬アップ予定 北大マルシェ Café & Labo サイト内

クラーク博士から140年以上受け継がれた、北大農場で採れた希少な牛乳をスイーツに。

クラーク博士指導の下に1876年に開校した札幌農学校時代からはじまり、140年以上の歴史を持つ北大農場。その頃の乳牛の子孫は今も飼育されていますが、わずか十数頭しかおらず牛乳の生産量も多くはありません。

そこで新ど研は、その貴重な牛乳を多くの方に味わってほしい！という想いと、伝統を受け継いできた北海道の酪農のさらなる発展のために、「100年かけて、ふつうをつくる。」をキャッチフレーズに「HOKUDAI Clark's Milk」プロジェクトを始動、商品開発をプロデュースしました。



▲大正時代から続く由緒正しい血統の末裔「ネリシロ」

初日でクラウドファンディング目標金額達成。話題のおみやげクッキー&バウム。

レシピを開発したのは、ドルチェヴィータ（本店：札幌市清田区）のオーナー安孫子シェフ。自然豊かな風味が活かしている北大牛乳と北海道産の素材を使用し、何度も試作を重ねた結果、味わい深いスイーツを完成させました。

また、クラウドファンディング『Makuake』においてプロジェクト支援を募集（2/12～3/15）。公開初日に目標金額を達成し、1か月で対目標500%超え、計230名の方からご支援を頂きました。



▲大地の力強いおいしさを感じる味が特徴

プロジェクトメンバー

<企画プロデュース>
新どさんご研究所

新ど研

新どさんご研究所

<販売元>

北大マルシェ Café & Labo

CAFÉ & LABO



HOKUDAI
MARCHE

<製造元>

ドルチェ・ヴィータ



【新どさんご研究所（新ど研）概要】



北海道民の今の姿をデータで明らかにしながら、「一歩先の北海道民＝新どさんご」と定義して、その変化を予測・提言する(株)北海道博報堂が設立した研究組織。

◎公式サイト：<http://shindoken.com/>

所長：山岸 浩之

<プロフィール>

2014年北海道博報堂入社。コミュニケーション戦略局長兼マーケティング部長として、北海道の様々なクライアントの戦略立案やリサーチを担当。